

シンポジウム 4 感染症パンデミック時にプライマリケア医はどのような研究ができるか。
～COVID19 パンデミックを振り返って～

COVID-19 パンデミック後に経験をつなぐ 山本洋介

感染症パンデミックの真ただ中において、臨床家として研究を実践することは時間的制約から困難を伴う。それでも、事前にリサーチクエスチョンを考えておく習慣をつけることにより、多少の時間的余裕が生まれた段階で、将来の感染症パンデミックの際にもつながりうる臨床研究の発信が可能となる。本講演では、COVID-19 パンデミックとともに浮き彫りになったワクチン接種忌避に関する研究、さらには、パンデミック後の世界をみすえた、Long COVID の諸症状に伴う負担を可視化するための尺度開発研究について紹介する。